

快適に、そして安全にお使いいただくために

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
安全に正しくご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、この取扱説明書は、お手元に保存し必要に応じてご覧ください。

 **警告** 誤った取扱をしたときに重傷を負う可能性があることを示しています。

 **注意** 誤った取扱をしたときに障害を負う可能性や物的損害の発生が想定されることを示しています。

 一般的な注意が必要なことを示しています。

 **禁止** 禁止の行為であることを示しています。

 **指示** 行為を指示する内容を示しています。

メガネのお取扱いはていねいに

●メガネの掛けはずしは、テンプル(つる)を持って顔にそわせながら正面で行ってください。片方のテンプル(つる)を持って無理に行くと、破損、変型、ゆらみ等の原因となります。

●メガネを掛けるときは、テンプル(つる)を充分に開いてゆっくりと掛けてください。目を突いて負傷する可能性がありますので、注意してください。



 **禁止** ●メガネは、そのままの状態ですら太陽光のあたる場所に置かないでください。凸レンズの場合、その集光作用により、周囲を焦がす恐れがあります。

 **禁止** ●メガネを置くときは、レンズの凸面を上向きにしてください。下向きにしますとキズの原因になります。



●メガネの掛け具合が悪く鼻や耳に無理な負担がかかるときは、早めにご購入店で調整してもらってください。肌を傷める原因になります。

●持ち運びのときや、ご使用にならないときは、お手入れた上で、ケースに入れて保管してください。



●また、防虫剤、トイレ・浴用洗剤、化粧品、整髪料、薬品などの入った場所に保管しておく、レンズ、フレームともに劣化、変質、変色の原因となります。



指示

□メガネは、レンズ、フレームともに経年変化によって素材が劣化します。また、度数が合わなくなる場合もあります。
1年毎を目安にご購入店で定期点検を受けてください。



禁止

●縁なしフレーム(ツーポイントフレーム)
縁なしフレームは、レンズがむき出しになっていることと、レンズに穴を開けているため、リム(レンズ縁)のあるフレームと比較して、レンズ割れの可能性が高いフレームです。ていねいに扱うようにしてください。
ネジのゆるみ・枠の変形やレンズ割れが発生した場合は購入店で点検を受けてください。

●ナイロールフレーム

ナイロン糸でレンズを固定する構造のフレームは、ナイロン素材の劣化により、糸が切れてレンズが外れることがあります。糸は消耗品です。一年を目安に点検・交換を行ってください。

●超弾性フレーム、バネ丁番フレーム

超弾性フレームは型崩れしにくいメガネですが、故意に曲げたり、ねじったり無理に強い力を加えたりすると破損・変形を起こす恐れがあります。バネ丁番フレームは構造上、湿気・水分・ほこり等を嫌います。入浴・サウナ・海水浴等の場合はメガネをはずすようにしてください。また、無理にテンプル(つる)を開くことは、故障の原因となります。



警告

●衝撃による破損

メガネは強い衝撃が加わると破損し、レンズやフレームの破片等で人体を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
また、激しいスポーツや動作でメガネ本体で人体を傷つける恐れがあります。そのような場合はメガネをはずすようにしてください。

●肌の異常

メガネが肌に触れる部分に痒み、かぶれ等が生じた時は、ご使用をやめ、購入店にご相談ください。そのままご使用になると肌に異常を生じる事も考えられます。

□プラスチックレンズも強い衝撃があるとレンズやフレームが破損します



禁止

●強い衝撃があると、レンズやフレームが破損し、破片で目や顔に重傷を負うことがあります。
失明に至る場合もありますので、破損の可能性のある場合は、保護具(ゴーグルなど)と併用してください。

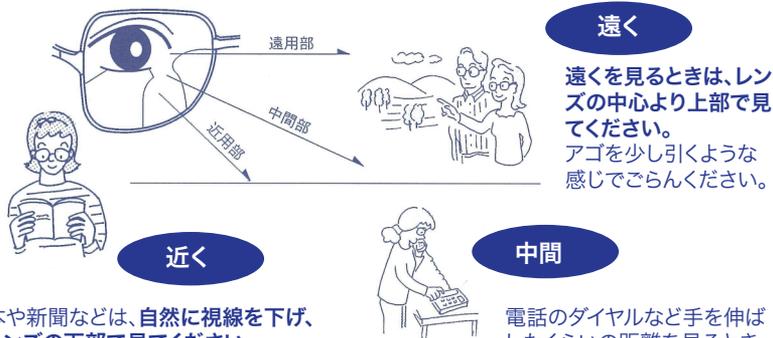


指示

●フレームが曲がっていたり、ずり落ちたまま使用していると、レンズが正しく使えず見づらくなります。必ず調整してください。

累進多焦点レンズの視線の使い方・使いはじめ

図のような視線の使い方、遠く・中間距離・近くを見ることができます。



遠く

遠くを見るときは、**レンズの中心より上部**で見てください。
アゴを少し引くような感じでごらんください。

近く

本や新聞などは、**自然に視線を下げ、レンズの下部**で見てください。
横書きの本を読むときは、視線はそのままで、頭を左右に動かしてごらんください。

中間

電話のダイヤルなど手を伸ばしたくらいの距離を見るときは、**レンズの中心よりやや下部**で見てください。
アゴを上下させて、ハッキリ見えるところを探してください。



注意

- 累進多焦点レンズはレンズの側方部にゆれ・ゆがみを生じる部分(図のグレー部分)があります。視線の移動に注意し、ゆれ・ゆがみを感じない部分でご使用ください。万一、慣れない場合には、ご購入店に改めてご相談ください。
- 階段の昇り降り・段差のある場所では、レンズの近用部(下部)で見るとピントが合いにくく距離感がつかめず危険です。レンズの遠用部(上部)で確認のうえ、昇り降りしてください。



運転・操縦はレンズに慣れてから



注意

- 車の運転や操縦には、遠くから近くまでの視野が必要です。レンズに慣れてからにしてください。見え方や使い方に慣れないうちは、距離感がつかめず危険です。
- フレームが曲がっていたり、ずり落ちたまま使用していると、レンズが正しく使えず見づらくなります。
ご購入店で調整してください。

見え方に異常があるときは



注意

- レンズのキズやくもり、ヒビ割れ及び反射防止コート膜はがれなどによって見えかたに異常を感じたら、直ちに使用を中止し、ご購入店にご相談ください。視力が低下したり光が当たりますと乱反射して見えにくくなります。特に夜間の運転には使用しないでください。

タイプ別レンズの使用注意点

累進屈折力(境目のない遠近両用)レンズ

レンズ上部の遠くを見る部分から、下部の近くを見る部分まで連続的に度数が変化しています。遠く、中間、近くに視線を上下することにより、快適な視界を得ることができます。



- 見え方に慣れないうちは、レンズの側方部にゆれ、ゆがみを感じる場合があります。
- 車の運転時には、遠くから近くまでいろいろな条件での視野が必要です。レンズに慣れてから、行ってください。
- 階段の昇り降り、段差のある場所で近用部(下部)を使用しますとピントが合いにくく危険です。レンズの遠用部(上部)をご覧ください。

二重焦点(境目のある遠近両用)レンズ

レンズは、遠用部と近用部からなっています。遠くを見る時は遠用部、近くを見る時は近用部を通してみてください。



- レンズの境目は急激に見え方が変わり遠近感をくわせます。ご注意ください。
- 車の運転時には、遠くから近くまでいろいろな条件での視野が必要です。レンズに慣れてから、行ってください。
- 階段の昇り降り、段差のある場所で近用部(下部)を使用しますと、ピントが合いにくく危険です。レンズの遠用部(上部)をご覧ください。



室内用レンズ(中近レンズ)

視線を上下することにより、中間距離から近くまで連続的に見ることができます。



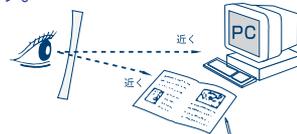
- 距離が離れるほど見えにくくなります。乗り物の運転や操縦には絶対に使用しないでください。



- 屋外作業やスポーツなどに使用しないでください。
- 階段の昇り降り、段差のある場所で近用部(下部)を使用しますと、ピントが合いにくく危険です。レンズの遠用部(上部)をご覧ください。

デスクワーク用レンズ(近近レンズ)

近く専用のレンズです。見える範囲はレンズの種類や度数等によって異なります。



- 距離が離れるほど見えにくくなります。乗り物の運転や操縦には絶対に使用しないでください。

- 屋外作業やスポーツなどに使用しないでください。
- 室内でも、階段の昇り降り、段差のある場所では、ピントが合いにくく、使用しないでください。



※眼鏡を使用し運転される場合には、運転可能な視力が出ていることをご確認ください。

お手入れはやさしくこまめに

□拭く

- レンズにゴミやホコリ等が付着しているときは、まず水洗いしてください。ティッシュペーパーで水気をとり、メガネ専用メガネ拭きで拭いてください。から拭きしますとキズの原因になります。

□洗って拭きとる



注意

- 汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めた液で軽く洗い、水でよくすすぎます。あとはティッシュペーパーで水気をとり、メガネ専用メガネ拭きで拭いてください。から拭きしますとキズの原因になります。アルカリ系の洗剤(石鹸、ハンドソープ、ボディソープ等)は使用しないでください。コート膜が劣化し、はがれる原因となります。

- 特に汗、レモンなどの果汁、油、ヘアスプレー、整髪料、化粧品、カビ取り剤、薬剤(シンナー、トイレ・浴用洗剤)、アルカリ系の洗剤、酸性洗剤などがついたときは、すぐに水洗いをしてよく落とし拭きとってください。そのままにしておきますと、レンズにシミなどが残り取れなくなったり、コート膜が剥がれたりします。

- メガネが濡れたときは、すぐにティッシュペーパーやメガネ拭きで拭いてください。濡れたまま放置すると、水あとがシミになって取れなくなります。



□高温(60°C以上)や急激な温度差はレンズを傷めます



注意

- 熱によってレンズ表面のコート膜がヒビ割れすることがあります。
- 熱によってレンズが変形し、フレームからはずれることがあります。
- 熱によるレンズの変形で度数が変化し、見えかたに悪影響を及ぼすことがあります。
- メガネを熱湯で洗ったり、ヘアドライヤーなどの熱風に当てないでください。又、サウナでは使用しないでください。
- 熱い油やアイロン、ストーブなどの高温のものに近づけないでください。
- 炎天下の車の中などでは70°C~80°C近くになりますので放置しないでください。
- 炎天下の砂浜は高温になりますので、メガネを放置しないでください。



禁止

- レンズのキズやくもり、ヒビ割れ及び反射防止コート膜はがれなどによって見えかたに異常を感じたら、直ちに使用を中止し、ご購入店にご相談ください。視力が低下したり、光が当たりますと乱反射して見えにくくなります。特に夜間の運転には使用しないでください。

カラーレンズのご使用注意点



注意

□特殊作業の保護機能はありません。

本製品は視力を補正するためのメガネレンズです。衝撃や溶接作業特殊用途用紫外線・レーザー光線・X線などから目を守る保護機能はありません。これらの目的には、使用しないでください。



※濃いカラーレンズでの運転は危険です

※カラーレンズではトンネル内や、屋内の暗い場所、夕暮れ時、夜間の運転には不適当です。場合によっては光量不足で、視力が低下し大変危険です。



禁止

●夜間・夕暮れ時の運転の禁止

濃度おおよそ25%以上(視感透過率75%以下)では、光量不足で視力が低下することがありますので、使用しないでください。



注意

●昼間の運転の注意

濃度おおよそ92%以上(視感透過率8%以下)のレンズは、昼間でも光量不足で視力が低下することがありますので、充分ご注意ください。

※カラーレンズの濃淡や紫外線カットの有無にかかわらず、太陽や強い光を直視しないでください。目に重傷を負ったり、失明に至る場合もあります。



禁止

●UVカットレンズ

UVカット加工は、通常使用の状態での有害な紫外線をカットする程度の加工で、業務用の紫外線保護メガネとしては使用できません。



禁止

●調光レンズ

紫外線を受けると色が濃くなり(透過率が下がる)、色が濃くなった状態から紫外線を遮断しますと色が淡くなります。(透過率が上がる)濃くなった状態から淡く戻るまで時間がかかりますのでトンネル内や屋内の駐車場や夕暮れ時の運転には使用しないでください。

※調光レンズの濃度は紫外線の強さや温度により左右されます。強い光を受けると発色が促進されますが、温度が高くなると発色が抑制されます。光の量が多くて温度が高い夏季などではあまり濃くならない傾向にあります。



禁止

●偏光レンズ

濃度25%を超えるレンズは夕暮れ時や夜間の運転には使用しないでください。車のフロントガラスの種類によっては歪みが見える場合があります。

※偏光フィルムはたいへんデリケートです。長時間水の中へ放置すると偏光フィルムに水が入り変質する恐れがあります。水や超音波洗浄機にはつけないでください。濡れた時はすぐにふき取ってください。